

ChatGPT を用いた小説関連研究：教育的小説の生成、マダミスの生成、推理小説での犯人推定

村田真樹¹

¹ 鳥取大学工学部電気情報系学科 / 鳥取大学工学部附属クロス情報科学研究センター
murata@tottori-u.ac.jp

概要

ChatGPT などの言語生成 AI の発展が目覚ましい。本研究では、ChatGPT を用いた小説関連研究を行った。具体的には、教育的小説の半自動生成、マダーミステリー（マダミス）の半自動生成、推理小説での犯人推定を行った。これらについて紹介する。教育的小説は被験者実験を行い、ある程度の有効性を確かめた。ChatGPT は論理に弱いという問題がある。論理に弱い内容だが、マダミスを 2 編作成できた。推理小説のあらすじを ChatGPT で生成し、そのあらすじを ChatGPT に与えて犯人を答えさせた。

1 はじめに

ChatGPT[1] などの言語生成 AI の発展が目覚ましい。本研究では、ChatGPT を用いた小説関連研究を行った。具体的には、教育的小説の半自動生成、マダーミステリー（マダミス）の半自動生成、推理小説での犯人推定を行った。これらについて紹介する。本論文では 2 節と 3 節では ChatGPT-4 を、4 節では ChatGPT-3.5 と ChatGPT-4 を使用している。

2 教育的小説の半自動生成

2.1 教育的小説の半自動生成の概要

ChatGPT はまだ長い文章は書けない。このため、小説 [2] を分割して生成することになる [3]。

小説生成の基本的生成方法について述べる。まず、アイデアを考えて ChatGPT で 10 章ほどのあらすじを書かせる。各章の詳細を ChatGPT に書かせる。この途中で人手で手直ししたり、ChatGPT に修正指示を与える。

これにより、小説は一般に大量に生成できることがわかる。

小説には、教育的 [4] に勉強になる小説がある。例えば、哲学を教育的内容として織り込んだ「ソ

表 1 教育的小説

タイトル	内容
AI の魔法使い	自然言語処理を学ぶ
未来の種を蒔こう	SDGs を学ぶ
心の選択	行動経済学を学ぶ

フィーの世界」という小説がある。このような小説は読者に興味を持たせ、教育的な内容を自然に学ばせる効果がある。現代においても、物語性の力は学びの中で非常に有効であるとされる。しかし、教育的要素を織り込んだ文学作品の制作は、専門家の手によるものが中心であり、量的な拡充や多様性の確保が課題となっている。

ChatGPT を用いると小説を大量に生成できる。これを利用して、ChatGPT を用いて大量に教育的小説を生成することを考える。これならば、量的な拡充や多様性の確保が可能となる。

2.2 教育的小説の半自動生成の方法

小説生成自体は 2.1 節の方法を利用する。その際に、特に、教育的に役立つ内容になるように ChatGPT に指示することで、教育的小説を生成する。

実際にこの方法で表 1 の 3 編の小説を生成した。「AI の魔法使い」の小説を生成した際のプロンプトを記す。「自然言語処理、大規模言語モデルを、素人でも、容易に楽しんで学べるような小説を書いてください。」を入力する。ChatGPT の出力に満足できず、「登場人物名は日本名にしてください。具体的に、より詳しい、自然言語処理、大規模言語モデルを勉強できる内容に変更してください。これを踏まえて 10 章の小説を書いてください。」を入力する。以下を ChatGPT が出力する。

タイトル：「AI の魔法使い」第 1 章：夢の中の冒険東京に住む少年・タケルは、自然言語処理に魅せられ、AI の冒険を夢見ていた。ある日、古い書籍で「自然言語処理」という技術を見つけ、その魔法のような力について学び始め

表2 教育的小説の評価

タイトル	興味	勉強	有用
AIの魔法使い	1.67	1.33	1.67
未来の種を蒔こう	0.00	1.33	1.67
心の選択	2.67	2.33	2.00
平均	1.44	1.67	1.78

た。第2章：テキストの魔法使い夜、タケルの部屋に突然現れたのは、伝説のAI、テキストの魔法使い「ワードセンセイ」だった。ワードセンセイは自然言語処理の達人で、言葉の力で世界を変えられると言われていた。第3章：言葉の力.....

4章以降のタイトルは以下であった。

第4章：文の理解、第5章：感情の分析、第6章：大規模な魔法、第7章：魔法の応用、第8章：新たな挑戦、第9章：課題への取り組み、第10章：魔法使いの旅立ち。

次に以下を入力する。

タイトル：「AIの魔法使い」というタイトルの小説の一部を書いています。以下の箇所の小説を書いてください。会話を多用してください。第1章：夢の中の冒険 東京に住む少年・タケルは、自然言語処理に魅せられ、AIの冒険を夢見ていた。ある日、古い書籍で「自然言語処理」という技術を見つけ、その魔法のような力について学び始めた。

以下を ChatGPT が出力する。

第1章：夢の中の冒険 東京の小さなアパートで、少年・タケルはベッドに横たわっていた。彼の頭の中は、自然言語処理という技術でいっぱいだった。タケルは古い書籍でその技術を見つけ、あれこれと想像を巡らせていた。「自然言語処理って、どんなことができるんだろう？」タケルはつぶやいた。彼の部屋の窓からは都会の夜景が見え、部屋の中には静寂が広がっていた。タケルはゆっくりと眠りについた。そして、夢の中である場所にいた。彼の目の前には、伝説のAI、テキストの魔法使い「ワードセンセイ」が現れた。「タケル、自然言語処理の力を使って、何がしたいか？」ワードセンセイが深い声で問いかけた。.....

各章について同様に入力する。そうすると、10章の内容について、詳細な小説が執筆される。6800文字程度の小説が生成できる。

2.3 半自動生成した教育的小説の評価

半自動生成した3編の教育的小説を評価した。興味（興味を持って読めたかどうか）、勉強（各小説での学問について勉強になったか）、有用性（この学べる小説は、教育に役立つと思うか）を、-3から3の整数の7段階で評価した。被験者は著者以外の3名であり、その平均を表2に示す。

心の選択が最も評価が高く、未来の種が最も評価が低い。興味の評価は、被験者の興味にあうかの影響がある。全体的に-3から3の評価のところ、1.4~1.8であり、ある程度良い結果であった。教育的小説を大量生成していく有効性がわかる。

「心の選択」の生成の際は、先に行動経済学につ

いて、「行動経済学での知見を10個箇条書で示してください。」のような指示で、10個の知見を書かせてから小説を執筆させた。これにより、知見が小説に盛り込まれやすくなり、他より評価が上がった可能性がある。

3 マダミスの半自動生成

マダーミステリー（マダミス）[5]は、参加者が物語の中のキャラクターとなり、与えられた設定や手がかりをもとに事件の真相を解明するゲームである。このゲームは、一度真相を知ってしまうと再び遊ぶことが難しく、そのため新しいマダミスの制作が常に求められる。クオリティの高いストーリーを短時間で大量に作成することは困難である。ChatGPTを用いて簡便にマダミスを生成できれば、短時間にマダミスを大量に生成でき便利である。そこで、本節では、マダミスを ChatGPT で半自動生成する。

マダミスは、複数の参加者が登場人物として事件に関与し、与えられた情報やヒントを元に真相を解明するゲームである。このゲームは独自の形式を持ち、各登場人物の視点の文章が用意される。この文章は「ハンドアウト」と称され、小説の俯瞰的な視点や単一の人物視点とは異なる。参加者には役割が割り当てられ、ハンドアウトを通じて事件の概要やキャラクターの知識を得る。情報の交換を通じて真相や犯人の手掛かりが明らかとなる。

3.1 マダミスの半自動生成方法

大雑把な事件のアイデアを人手で考案し、それを基に ChatGPT に指示して詳細な事件の概要や登場人物の情報、全体のタイムスケジュールを生成させる。ChatGPT の出力は完璧ではないため、人手での修正や調整が必要である。各登場人物のタイムスケジュールを ChatGPT に生成させ、その出力を人手で修正する。この詳細なタイムスケジュールを基にハンドアウトを作成する。情報が徐々に明らかになる要素に情報カードを利用する。情報カードは各登場人物の秘密の情報や真相のヒントから作成する。最後に、オープニングや複数のエンディングシナリオを ChatGPT を用いて生成する。

3.2 マダミスの半自動生成例

現在、2個のマダミスを半自動生成している。そのうちの一つの生成例を以下に示す。

以下を ChatGPT に入力する。

以下を考慮してマダーミステリーを作成ください。登場

人物のタイムスケジュールも作成ください。宝石が盗まれる。宝石を盗んだ犯人を推理する。テーマと設定の選択: まず、物語の舞台や背景を決定します。例: 1920年代の豪華な晩餐会、未来の宇宙船内、現代のホテルなど。物語の構築: どのような状況で殺人が発生したのか、犯人の動機、被害者の関連性など、詳細なストーリーを作成します。キャラクターの作成: 登場人物とその背景、性格、関連性、秘密などを詳細に考え出します。重要なのは、すべてのキャラクターに役割や情報を持たせることで、ゲームが活発になるようにすることです。手がかりと証拠の作成: ゲームを進捗させるための手がかりや証拠を考えます。これには、物的証拠、目撃情報、矛盾する証言などが含まれます。

ChatGPT が下記を出力する。

テーマと設定 舞台: 1920年代の豪華なマンションでの晩餐会

物語の構築 晩餐会の最中、ホストの宝石が盗まれる。ゲストたちの中に犯人がいると思われるが、誰なのかは明らかにしていない。

キャラクターの作成

- レオナルド (ホスト): 裕福な男性で、美しい宝石のコレクター。
 - 秘密: 大金を持っているが、最近ビジネスで失敗をしている。
- マリア (ホストの妻): 社交的な女性で、レオナルドの宝石を羨ましく思っている。
 - 秘密: 家計が困窮していることを知っている。
- アレクサンダー: 作家で、マリアとは古い友人。
 - 秘密: レオナルドのビジネスの失敗を小説のネタにしようと考えている。
- エミリー: 若い女優で、レオナルドの新しい友人。
 - 秘密: 彼女のジュエリーのコレクションに新しいものを追加したがついている。
- トーマス: レオナルドのビジネスパートナー。
 - 秘密: レオナルドとのビジネスの失敗の責任を感じている。

タイムスケジュール

- 19:00: ゲスト到着
- 19:30: 晩餐開始
- 20:15: レオナルドが宝石が盗まれたことに気付く
- 20:20: 全員がリビングに集められ、宝石の盗難が発表される
- 20:30: ゲスト同士で話し合いが始まる

手がかりと証拠

- 物的証拠: エミリーのハンドバッグの中から宝石のような破片が見つかる。
- 目撃情報: トーマスが晩餐中にエミリーがレオナルドの部屋の方へ向かうのを見たと言証する。
- 矛盾する証言: アレクサンダーは、エミリーがレオナルドの部屋に入るのを見たと言いが、エミリーはその時間にマリアと話していたと主張する。

結末 真犯人はマリア。彼女は家計が困窮していることを隠し、宝石を売ってお金を手に入れようとした。エミリーのハンドバッグの中の破片は、マリアが彼女のハンドバッグに仕込んだものだった。

「各キャラクターの詳細なタイムスケジュールを考えてください。」を ChatGPT に入力する。ChatGPT が下記を出力する。全員のタイムスケジュールが出力される。

もちろん、以下は各キャラクターの詳細なタイムスケジュールです。

レオナルド (ホスト)

- 19:00: ゲストを迎え入れる
- 19:20: マリアとアレクサンダーの話に参加

- 19:30: 晩餐開始
 - 20:00: トイレへ向かう
 - 20:10: 戻ってくる
 - 20:15: 宝石が盗まれたことに気付く
- マリア (ホストの妻)
- 19:00: ゲストを迎え入れる
 - 19:15: アレクサンダーと話し始める
 - 19:40: エミリーとトイレへ向かう
 - 19:50: 戻ってくる
 - 20:05: レオナルドの部屋へ忍び込み、宝石を盗む
-

ChatGPT は論理に弱く、全体として整合性の良いタイムスケジュールを作成できない。このため、以下のような指示を出す。下記以外に細かいスケジュールを指定して ChatGPT に修正させることもする。

「下記を考慮して、各キャラクターの詳細なタイムスケジュールを作り直してください。「エミリーがレオナルドの部屋へ行くのを目撃 (実際にはマリアだったが、遠くから見て誤認)」はなにか変に思います。修正ください。エミリーのハンドバッグの中の破片は、マリアが彼女のハンドバッグに仕込んだものである。これを行う内容もタイムスケジュールに加えてください。」各キャラクターの詳細なタイムスケジュールを作り直してください。他のキャラクターと会っている場合はそれをもらさず明記ください。」

そのような指示の後、ChatGPT は下記を出力する。以下が、修正されたタイムスケジュールです。

レオナルド (ホスト)

- 19:00: ゲストを迎え入れる
 - 19:05: アレクサンダーが到着し、アレクサンダーと挨拶する
 - 19:10: エミリーが到着し、エミリーと挨拶
 - 19:20: トーマスが到着し、トーマスと挨拶する。マリア、アレクサンダーと共にリビングで話す。
 - 19:30: 全員と共に晩餐開始
 - 20:00: トイレへ向かう
 - 20:10: レオナルドの部屋に戻る
 - 20:15: 宝石が盗まれたことに気付く。晩餐会場に戻り、皆に宝石が盗まれたことを告げる。
- マリア (ホストの妻)

- 19:00: レオナルドと共にゲストを迎え入れる
 - 19:05: アレクサンダーが到着し、アレクサンダーと挨拶する
 - 19:10: エミリーが到着し、エミリーと挨拶
 - 19:15: アレクサンダーとリビングで話し始める
 - 19:20: レオナルドもリビングで参加し、3人で話す
 - 19:30: 全員と共に晩餐開始
 - 19:40: エミリーと共にトイレへ向かう
 - 19:45: トイレでエミリーのハンドバッグに宝石の破片を仕込む
 - 19:50: レオナルドの部屋へ忍び込み、宝石を盗む
 - 20:00: 晩餐会場に戻る
 - 20:15: レオナルドが晩餐会場に来て、宝石が盗まれたことを告げる。
-

下記を ChatGPT に入力する。

以下のキャラクターの詳細なキャラクターシートを作ってください。このキャラクターの視点でのこの物語の文章を書いてください。レオナルド (ホスト): 裕福な男性で、美しい宝石のコレクター。秘密: 大金を持っているが、最近ビジネスで失敗をしている。レオナルド (ホスト) 19:00: ゲストを迎え入れる (中略) 20:15: 宝石が盗まれたことに気付く。晩餐会場に戻り、皆に宝石が盗まれたことを告

げる。

ChatGPT は以下を出力する。

キャラクターシート

名前: レオナルド

役職: ホスト

特徴: 裕福であり、美しい宝石のコレクター

性格: 礼儀正しく、他者には自身の失敗や弱さを見せたくない。プライドが高く、家族や友人を大切に思う。

秘密: 大金を持っているが、最近ビジネスでの失敗が続き、資産が減少している。

関係: マリア (妻)

目的: 賓客たちとの交流を深め、ビジネスの失敗を忘れること。

レオナルドの視点での物語

19:00 になり、準備を整える。この夜は特別な夜だ。愛する妻、マリアと共に友人たちを我が家に招待している。それぞれの顔を思い浮かべながら、彼らを迎え入れる準備をしている。

19:05、アレクサンダーが到着。彼とは長い付き合いで、多くのビジネスを共にしてきた。彼には、最近の失敗を知らせていない。挨拶を交わし、少しの間、以前の成功話で盛り上がる。

19:10、エミリーが到着。彼女はいつも明るく、その笑顔はどんな場面でも私の心を温めてくれる。彼女との挨拶も終わり、リビングへと案内する。

...

同様にして、全員分のキャラクターシートを作成する。

さらに、タイトル、プロローグ、情報カード、ネタバレの解説文を ChatGPT に生成させてマダミスが完成する。

最初は殺人事件でマダミスを作ろうとしたが、それでは殺人の描写などで ChatGPT が不適切な文章として書き進めなくなった。このため、宝石を盗む内容でより穏当なものにしてやっと作成できた。

もう 1 個マダミスを作成しているが、それは自然言語処理の内容をやや含む教育的なマダミスとなっている。

4 推理小説での犯人推定

本節では推理小説での犯人推定 [6] を試みた。

まず、ChatGPT に小説を分割して入力する。分割した各個所から短いプロットを出力させる。小説中で犯人が解明される直前までのプロットすべてをつなげて ChatGPT に入力して、犯人を予想させる。犯人が最初からわかるように書かれている小説は除いて研究する。

まず、シャーロックホームズの小説で実験した。10 件のうち 7 件で ChatGPT-3.5 でプロットから犯人を正しく予測できた。

しかし、シャーロックホームズの小説は有名であるので、ChatGPT が学習に使っていてそれで解けている可能性がある。この 10 件の小説のうち 10 件とも ChatGPT-3.5 で小説のタイトルだけから犯人を正

しく予測できた。また、この 10 件の小説のうち 6 件で ChatGPT-3.5 でプロットからタイトルを正しく予測できた。プロットからタイトルを正しく予測できた。

プロットからタイトルが予測できなかった小説では、4 件のうち 3 件で、ChatGPT-3.5 でプロットから犯人を正しく予測できた。

シャーロックホームズの小説以外でも実験をすることにした。ChatGPT が学習に用いていないと思われる、素人が小説を投稿できるサイトの推理小説で実験した。12 件の小説のうち 6 件で、ChatGPT-4 でプロットから犯人のうちの一人を正しく予測できた。

シャーロックホームズの小説でプロットを生成している様子を以下に示す。

推理小説を送るので、登場人物、プロット、小説内での場所と時間、犯行のトリック、またトリックの伏線となりそうな点を簡条書きしてください。

「残念だが、ワトソン、行く事になりそうだ」ある朝一緒に朝食をとっているとホームズが言った。

「行く！どこへ？」

「ダートムーア、キングズ・パイランドだ。」

意外ではなかった。実を言うとは私は、イギリス中の話題をさらっていたこの異常な事件に、まだホームズが関与していない事をただ不思議に思っていた。...

これを ChatGPT に入力すると下記を出力する。

登場人物：

1. シャーロック・ホームズ - 有名な探偵で物語の主要なキャラクター。

...

プロット：

1. ホームズとワトソンはエクセターへ向かう列車で、シルバー・ブレイズ事件（馬の失踪と殺人事件）に関する情報を交換しながら、事件の真相を解明しようとする。

2. ホームズは遅れて事件現場に到着したが、事件の重要な事実を把握し、その詳細をワトソンに説明し始める。

小説内での場所と時間：

...

小説を短い部分に区切って上記処理を繰り返す。このうちのプロットのみ抜き出してつなげて ChatGPT に入力して犯人を答えさせる。犯人が判明する直前までのプロットをつなげて用いる。

5 おわりに

教育的小説の半自動生成、マダーミステリー（マダミス）の半自動生成、推理小説での犯人推定を行った。教育的小説は被験者実験を行い、ある程度の有効性を確かめた。ChatGPT は論理に弱いという問題がある。論理に弱い内容だが、マダミスを 2 編作成できた。推理小説のあらすじを ChatGPT で生成し、そのあらすじを ChatGPT に与えて犯人を答えさせた。

謝辞

4 節と C 節の推理小説での犯人推定は、南山晴海氏との共同研究である。南山氏の上承を得て、本論文で内容を紹介している。

参考文献

- [1] OpenAI. Chatgpt. <https://openai.com/blog/chatgpt/>, 2022.
- [2] 佐藤理史. コンピュータが小説を書く日. 日経 BP, 2016.
- [3] IT navi. ChatGPT でサイバーパンク小説「Cyber Rebellion」. Independently published, 2023.
- [4] Chung Kwan Lo. What is the impact of chatgpt on education? a rapid review of the literature. **Education Sciences**, Vol. 13, No. 4, 2023.
- [5] Corinna Jaschek, Tom Beckmann, Jaime A. Garcia, and William L. Raffe. Mysterious murder - mcts-driven murder mystery generation. In **2019 IEEE Conference on Games (CoG)**, pp. 1–8, 2019.
- [6] 山本聖也, 奥村紀之. 推理小説の難易度評価のための犯人推定. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 45–348, 2015.

A 役立つ小説

2 節の方法を使えば、大量に容易に小説を生成できる。ChatGPT などの AI により、多くの仕事が効率化、自動化されると思われる。販売員の仕事の参考になる小説も容易に生成できる。下記を入力しその出力の各章を ChatGPT で書かせるとよい。

「卸売および小売」業種での販売員の仕事の様子を詳細に記載する小説を 10 章で書いてください。この販売員は ChatGPT を利用して効率よく仕事をするものとします。下記情報もご参考ください。

販売員: 商品の販売、顧客サービス、在庫管理などを担当します。小売業界では特に一般的な職種です。

販売員:

商品情報の提供: ChatGPT は、商品の詳細や特徴に関する質問に答えることができます。顧客サービス: 顧客からの一般的な質問に答え、ポリシーやサービスに関する情報を提供します。在庫照会: 在庫管理システムと連携して、在庫状況の照会をサポートします。

小説の一部は例えば下記のようなになる。

「サンライズマーケット」の店内はいつものように賑やかだった。健一は ChatGPT の画面をチェックしながら、次々とやってくる顧客の質問に対応していた。

若い女性の顧客: 「すみません、この化粧品の成分にアレルギー反応はありますか?」

健一はすぐに ChatGPT に入力し、答えを見つけた。

健一: 「この製品は天然成分を主に使用しており、アレルギー反応の報告はほとんどありません。ただし、念のためパッチテストをお勧めします。」

女性の顧客は安心した様子で笑みを浮かべた。

女性の顧客: 「詳しい情報をありがとうございます。これで安心して買えます。」

著者以外の被験者一名で 2.3 節と同様の実験を行った。上述の販売員の小説と、別途作成した開発者、弁護士の職業に役立つ小説の合計 3 個で実験した。興味、勉強、有用性の平均は、2.33、1.33、0.67 であった。少なくとも興味は持ってもらえる結果であった。

B マダミスの作成例の続き

本節では、3.2 節のマダミスの作成例の続きを書く。タイトル、プロローグ、情報カード、ネタバレの解説文を ChatGPT に生成させる例を以下に示す。

3.2 節の作業の後で、「このマダーミステリーのタイトルとプロローグを作成してください。」を ChatGPT に入力する。ChatGPT が下記を出力する。

タイトル:

「煌めく欲望の晩餐会」

プロローグ:

都心の豪華な邸宅、夜の帳が下りた中、裕福なビジネスマン、レオナルドが開催する晩餐会に、特別なゲストたちが招かれていた。その中には彼の美しい妻マリア、古くからの友人である作家のアレクサンダー、レオナルドのビジネスパートナーであるトーマス、そして彼の新しい友人で若手女優のエミリーが含まれていた。

夜の幕開けと共に、美味しい料理と楽しい会話が場は温かく、しかし、そこにはそれぞれの秘密と欲望が微細に漂っていた。そして晩餐の真っ最中、レオナルドが所有する貴重な宝石が盗まれる事件が発生する。宝石の行方は?そして、真犯人は誰なのか?

各ゲストたちの背景、欲望、秘密を背景に、煌めく欲望の晩餐会が今、幕を開ける。

マダミスでは、議論の途中で追加情報をカードとして与える。その追加情報カードの作成のため、下記の操作

をする。下記内容は人手で考えるが、キャラクターシートにあるものからコピペで容易に生成できる。下記を ChatGPT に入力する。

以下の追加情報から、マダーミステリーの情報カードとして作成ください。8 枚の情報カードを作成ください。追加情報 1: 物的証拠: エミリーのハンドバッグの中から宝石のような破片が見つかる。(中略)追加情報 8: エミリーは、ジュエリーを収集する趣味がある。

ChatGPT が下記を出力する。

マダーミステリー情報カード

カード 1

タイトル: 宝石の破片

情報: エミリーのハンドバッグの中から、宝石のような破片が発見された。

カード 2

タイトル: トイレの二人

情報: マリアとエミリーと一緒にトイレに行った。

...

「この 8 枚のカードの順番をランダムに並べ替えて、再度 8 枚の情報カードを作成ください。」と ChatGPT に指示し、カードを並べ替えさせる。

各プレイヤーが犯人として最多得票を得た場合のエンディングの文章を ChatGPT に書かせる。例えば、「マリアが犯人として最多得票を得た場合のエンディングの文章を書いてください。」と入力する。ChatGPT が下記を出力する。

エンディング: 失われた誇り

晩餐会の終わり、疑惑の目はマリアに集まった。彼女の社交的な性格は皮肉にも、彼女を犯罪の渦中へと引き込む原因となった。多くの者が彼女がレオナルドの宝石に強い欲望を持っていたこと、そして家計の困窮を知っていたことを指摘した。

マリアは初めは疑惑を否定し、涙を浮かべて自らの無実を訴えた。しかし、エミリーのハンドバッグから見つかった宝石の破片や彼女の行動が、疑惑を強くした。

最終的に、彼女は自らの行動の誤りを認めることになった。彼女は家計の問題、そしてレオナルドの宝石に対する強い欲望が、彼女を誤った道へと導いたと告白した。しかし、彼女の罪は物理的な犯罪以上に、彼女自身と彼女を愛していた人々の心を傷つけるものとなった。

晩餐会はその夜、暗い陰を落として終わった。マリアの行動は彼女自身だけでなく、彼女の愛する者たちにも大きな影を落とし続けることとなる。

最後に、マダミスのネタバレ、解説文を書かせる。以下などを ChatGPT に指示する。これで完成する。

「今回のマダーミステリーのネタバレを書いてください。犯人はマリアにすでに決まっています。」「今回のマダーミステリーのネタバレを書き直してください。宝石を盗んだタイミングや、エミリーにしかけた工作についても解説ください。」「今回のマダーミステリーのネタバレを書き直してください。このマダーミステリーのタイトルは「煌めく欲望の晩餐会」です。」

C 犯人を答えさせるプロンプト

4 節の犯人を答えさせるプロンプトには下記のようなものを用いた。

推理小説のプロットを送るので、被害者と犯人と予想される人物を 1 人答えてください。またその理由を箇条書きしてください。

ホームズが突然、ウェセックス・カップ本命馬の失踪とその調教師の殺害事件に関与する意思を表明する。

...